

伊賀地区 駅伝初出場!

アポロ興産

リビングサービス課 大森



1月31日(日)、天候は快晴、風もなく気温は10度を超える暖かな駅伝日和となり、第56回伊賀地区駅伝競走大会が開かれました。

とある理由から初の駅伝出場を決めたのが12月中旬。

そこからメンバーを集め、アポロ興産としては監督として稲葉部長(外販課)1区:岡本(リビングサービス課)2区:吉澤(外販課)3区:森本(ガス課)4区:東山(サガミSS)5区:野田(配送課)6区:大森(リビングサービス課)補欠:林(サガミSS)交通整理員:山島(外販課)が参加することとなりました。

それぞれが仕事を終えてから夜の練習。

1キロごとのラップタイムを計るも2キロを走ったところで「ゼエゼエ、ハアハア…」完全に最下位の予感…。しかし何日も練習を繰り返していくうちに少しずつみんなのラップタイムが上がっていきました。

大会に近づいた頃おそろいのTシャツと手作りのタスキを作り当日を迎えました。

この大会はこの時期の恒例となっており、文字通り今年で56回目。大変歴史のある大会です。多くの企業、各中学校、市民のチームなどが参加されており今年は全86チーム。

コースはゆめドーム北側道路をスタートにゆめが丘、友生地区、三重県伊賀庁舎を経てゆめドームへ戻る男子の部で6区間23.0kmで争われます。

目標は、①タスキをつなぐこと ②最下位にならないこと ③グループ会社でもある上野ガスやチームICT(伊賀ケーブルテレビ)に負けないことを挙げ、10時、突き抜けるような青空の下スタートしました。

男子の部は計51チーム、1区はスピード勝負の区間で各チーム足の速い選手が多かったせいか49位で2区へ。2区は2.4キロの最短区間でもあり猛ダッシュで3人を抜いて



46位で3区へ。友生へ向かうほぼフラットなコースで2人抜かれ48位に後退し4区へ。蓮池まで上りが続き折り返しで5人を抜く快走! みんなが心配していた繰り上げスタート約3分前で無事タスキが繋がり43位で5区へ。森林公園に向けて急な坂があったりしたものの1人を抜いて42位で最終6区へ。みんな一人一人が頑張ってタスキを繋げたことに感謝し、また、沿道から「あっ! アポロ興産!?...がんばってえ!!」とうれしい応援もあり5人を抜いて結果37位でゴールできました。



結果

優勝	旭ダイヤA	1時間17分08秒
30位	チームI・C・T	1時間39分49秒
37位	アポロ興産	1時間41分45秒
43位	上野ガス	1時間45分05秒



「駅伝は心のリレー」といいますが、必死で走りつなげてくれた仲間と、今か今かと待っている仲間の気持ち、監督や応援して下さったたくさんの方の気持ちがいっぱい詰まっている、そんな懸命につないだタスキのおかげで全力で走りきることができました。

初出場でここまでできた達成感と仕事仲間と一緒に目標に向かってひとつになれたことの満足感でいっぱいです。

来年も必ず参加し頑張りますので、応援の程よろしくおねがいします。



花粉症対策には ガス衣類乾燥機



ホームガス課
上田

嫌な季節になってきました。そう花粉・黄砂の季節です。日本では、そもそも花粉症は存在していなかったそうです。日本で花粉症が発見されたのは1963年のことで、齋藤洋三という人物が花粉症患者が増えてきたと発表したことから始まりました。その後、林業が盛んになり、スギやヒノキなどが大量に各地に植えられたことが日本の花粉症患者を大幅に急増させた要因でもあるようです。また、土や草木などの日本の土地が、花粉が吸着・分解されにくい土地へと変化していったことも、花粉症を流行らせることに繋がりました。花粉症は、スギなどの花粉(抗原)が原因となって起こるアレルギー疾患の一つです。特にスギ花粉症は冬の終わりから春にかけて、毎年くしゃみ・鼻みず・鼻づまりなどの症状で多くの人を悩ませています。日本では、スギのほかにもヒノキ、イネ、ブタクサ、ヨモギなど約50種類の植物が花粉症を引き起こすとされています。

私も花粉症に悩まされている一人です。鼻・目・のどなどの不快感で、この季節はたまりません。そんな花粉症真っ只中の皆さん、洗濯物はどうしていますか? パジャマなどの洗濯物を外干しすると花粉・黄砂が付着し、酷いと夜も眠れなくなります。衣類が乾燥するとき繊維が収縮して花粉を包み込むため、花粉をはらっても落ちないそうです。

そんな花粉症のあなたに、ガス衣類乾燥機をお勧めします。ガス衣類乾燥機の最大のメリットは「圧倒的なパワーでのスピード

乾燥」。クリーニング屋さんなど、プロが使う乾燥機は断然ガスなんです。

ガス衣類乾燥機なら、洗濯機から取り出してそのままボンと入れるだけで、約5kgの洗濯物をなんと約52分でフル乾燥できます。また、小さなお子様やスポーツを頑張るご家族がいて、大量の洗濯をこなさなければならないご家庭にピッタリなのは、2回目の洗濯をしている間に、1回目分の乾燥ができます。また、天日干しよりも乾燥機で乾かした方が、実はふっくら仕上がるのをご存じでしたか? 天日干しでは、布の繊維が寝たまま乾いていくので、ゴワゴワ感が出やすのです。その点ガス衣類乾燥機は、布をパウンドさせながら、温風を繊維の底まで当てていくので、繊維が立ってふんわりします。しかも、ガス乾燥機のパワフル温風で、天日干しと同レベルの除菌効果を発揮します。

パワーが強いため、電気の洗濯乾燥機に比べ、短い時間でよりふんわり仕上げるができるのです。

ガス衣類乾燥機は一度使ったら手放せません。使用した方の95%が満足しているという結果も出ています。花粉が飛散するこの時期にはもちろんですが、梅雨や日が照らない冬場など、一年を通して使用していただける商品です。設置も簡単です。洗面所・ベランダ・軒下など、スペースを有効利用しているんな場所に設置可能です。ガス栓がない場合でも簡単に増設できます。

花粉症にお悩みの方、是非ガス衣類乾燥機を使ってみてください。

①コーヒーの起源

エチオピアの羊飼いかルディは、ある時ヘンに元気にピョコピョコ跳ねている羊たちに気がついた。見ればその羊たち、木になっている赤い実を食べているではないか。これは何かあると煮詰めて試してみると、不思議なことに気分爽快。これがコーヒーの起源です。

②インスタントコーヒーの発明者は日本人

1899年、当時シカゴにいた日本人の化学者加藤博士がある実験を行った。液体のコーヒーを真空乾燥法で粉末にする実験、世界初のインスタントコーヒーの誕生です。しかし博士は特許権にはとんと関心が無かったのか、実際に特許をとったのは1906年、G・ワトソンという人物でした。

③コーヒーカップの把手は右におくべき? 左におくべき?

コーヒーカップをセットする際、把手が右になっていることもあれば、左になっていることもあります。実は把手が右側にくる方式は「アメリカ式」、逆に左側にセットするのは「イギリス式」とわれています。通常シュガーとミルクを入れる場合、左手をカップの把手に添え、右手にスプーンを持って混ぜ、カップを180°回転させて右手で持ち上げ味わいます。これがいわゆる「イギリス式」となります。一方、「アメリカ式」は薄めに抽出したアメリカンコーヒーをブラックで飲む人が増えたために、カップを回転させずにそのまま飲める様に配慮して生まれたスタイルだそうです。



④コーヒーダイエット

コーヒーがダイエットに良いと巷で評判のようですが、これはコーヒーに含まれるカフェインとクロロゲン酸が関係しています。カフェインには、脳の視床下部を刺激し交感神経の働きを活発にして脂肪を燃やし、褐色脂肪細胞が動くスイッチを入れる作用があります。その結果、脂肪燃焼が促進され基礎代謝が上昇します。更にクロロゲン酸が褐色脂肪細胞にアタックして、脂肪の燃焼効率がアップするそうです。コーヒーはまさにダイエットに最適の飲み物ですね! また、浅煎り豆は深煎り豆よりもカフェインとクロロゲン酸が多く含まれているそうです。豆の種類では、ハワイコナとマンデリンがカフェイン以外にも交感神経を刺激し、褐色脂肪細胞を活発にしてくれる成分を含んでいるそうです。ヨーロッパ産ブレンドにマンデリンがブレンドされているので、ダイエット効果を期待される方にはお勧めです!

⑤ニンニク料理のあとにはコーヒーを!

コーヒーに消臭効果があると言うことは有名ですね。これはコーヒーの中に消臭効果のあるフルフリール基タンニンなどの成分が多く含まれているからです。ニンニク料理を食べた直後ではなく、ニンニクが消化され臭いを発し始める1時間後にコーヒーを飲むとより効果的です。